

留学体験は  
大学を卒業してから  
役に立つの？

熊大グローバル  
Youthキャンパス

Go Global Seminar

グローバル人材って  
どんな人？

将来、世界で  
活躍できる人になるには？

# グローバルに 活躍できる 人材とは

海外のことや留学に関心のあるみなさんにとっておきのセミナーを用意しました！

イギリスやアメリカの先生の話聞いて、グローバルな視野を広げませんか？

講演会 (講演は原則、英語で行います)

テュレーン大学 (米国)  
**マルセロ黒田 教授**

Prof. Marcelo J. Kuroda (Tulane University, USA)  
“My Scientific Journey between Eastern and Western Cultures”

リーズ大学 (英国)  
**マーク・ウィリアムズ 教授**

Prof. Mark Williams (University of Leeds, UK)  
(文語体) (秋田弁)  
“From Bungotai to Akita-ben: A Journey in Search of Cultural Competence”

平成29年度新設

講演終了後、熊本大学グローバルリーダーコース (GLC) 説明会開催! (17:30 ~ 18:30)

2017  
**1. / 27 FRI**

参加  
無料

16:00 ~ 17:30

熊本大学工学部百周年記念館

熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学黒髪南キャンパス  
100th Anniversary Hall,  
Kurokami South Campus, Kumamoto University

対象 高校生・大学生・一般の方

事前参加登録はこちらから

熊本大学グローバル教育カレッジ  
<http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/2116/>

※事前登録なしでも参加可能です。



駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

# 講演者プロフィール



## マルセロ 黒田 教授

Prof. Marcelo J. Kuroda

テュレーン大学（米国）医学部教授（微生物・免疫学）  
テュレーン国立霊長類研究センター（米国）疫学研究部長

ラ・プラタ国立大学（アルゼンチン）医学部卒業後、熊本大学大学院医学研究科修了（医学博士）。ハーバード大学（米国）にてポストドク研究を行った後、ハーバード大学医学部ベス・イスラエル・メディカルセンターの講師、助教授。その後、准教授・部長としてテュレーン大学医学部・テュレーン国立霊長類研究センターに移り、2015年、微生物・免疫学の教授に就任。サル免疫不全ウイルス(SIV)を用いたサルエイズモデルを用いたHIV/エイズの研究を行っており、研究成果はエイズワクチン開発またエイズ発症機構の解明に貢献している。



## マーク・ウィリアムズ 教授

Prof. Mark Williams

リーズ大学（英国）教授（日本学）  
国際教養大学 前副学長

オックスフォード大学（英国）で日本語学を専攻。卒業後の1979年から2年間、群馬県の高校で教鞭をとる。1982年からカリフォルニア大学バークレー校（米国）大学院博士課程にて日本文学等を学ぶ。1988年リーズ大学の講師となり、自らリーズ大学の日本語学科を設立し、2004年、日本学の教授に就任。2011年から2014年、国際教養大学（秋田県）理事・副学長に就任。2014年、リーズ大学に復帰し、言語文化社会学部 教授。



## 2017年春、始動！ グローバルリーダーコース

熊本大学では2017（平成29）年度から、文学部、法学部、理学部及び工学部の各学部にグローバルリーダーコースを新設します。

入学後は、4学部およびグローバル教育カレッジの連携・協力のもと実施される、独自の教育プログラム「GOKOH School Program」で学修します。

GOKOH School Program は、多様な価値観を理解できる豊かな教養と国際感覚をベースに、高度な専門的能力を修得する「グローバル学修プログラム」と、フィールドワークやグループディスカッション、海外インターンシップ等への参加を通して、自らのアイデンティティを確立し、他者に対する理解力や他者への発信力を養成する「グローバル課外教育プログラム」で構成されています。

熊本大学の前身である旧制第五高等学校の剛毅木訥の精神を受け継いだ GOKOH School Program で、21世紀社会を逞しく生き抜く知力・胆力あるグローバルリーダーを育成します。